



学校だより

福島県立郡山支援学校
令和4年11月11日
令和4年度 第3号

学校経営・運営ビジョンに基づく、本校の取り組み状況をお知らせします。

学校教育目標

『一人一人のよさや可能性を広げ、「生活に生きる力」を育み、自立し社会参加できる児童生徒の育成を目指す。』

目指す子供の姿

主体的に生きる児童生徒

心豊かに生きる児童生徒

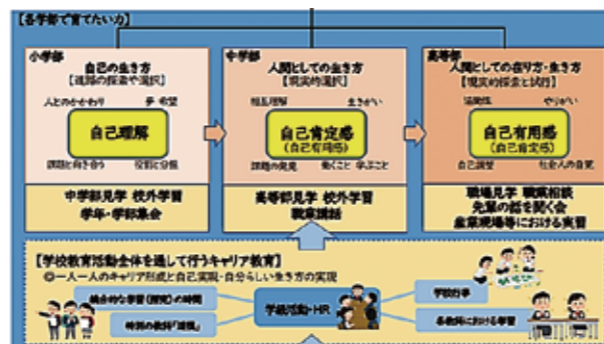
健やかに生きる児童生徒

主体的に生きる児童生徒

・小学部から高等部までの段階的系統的なキャリア教育

本校では、「自己理解」「自己肯定感」「自己有用感」をキーワードに、「自分でできることをふやそう・ひろげよう」とする意欲を高めることができるよう、キャリア発達の視点で日々の授業を丁寧に見直しなが、キャリア教育に取り組んでいます。

今年度は、学校経営・運営ビジョンの重点努力事項に「『郡山支援学校のキャリア教育』を活用し、小学部から中学部、高等部まで、段階的、系統的なキャリア教育を行います」と掲げ、学校全体でキャリア教育に取り組んでいます。



図「郡山支援学校のキャリア教育 図説」から一部抜粋

・ICTを活用した学習環境の整備

発語の難しい児童が、タブレット端末を使用し、自分の考えを音声で発表したり、言葉を音としてフィードバックしたりしながら学習しています。



中学部のスマイル新聞展では、生徒が作成した新聞を書画カメラを活用し、大型テレビ3台に投影して発表が行われました。



・教員同士が学び合う校内研修の充実

教員一人一人の専門性を高めるため、放課後の時間や長期休業日を利用して、校内研修を行っています。夏休みには、「授業力向上研修」が実施され、校内の先生方を講師として、見えにくさのある児童生徒の理解と支援に関する講座、図工・美術に関する実技講座、ICT活用に関する実技講座が行われました。児童生徒の学びを深めるための授業づくりに向けて、充実した研修となりました。



心豊かに生きる児童生徒

・体験的な活動を取り入れた道徳の指導

小学部

昨年、植木鉢に植えたハウセンカが種を飛ばし、今年は地面から芽を出し、花を咲かせました。実際にハウセンカの花を見たり、種が入っている袋に触ったりすることで、命がつながっていることを確認しました。



中学部

相手の気持ちを考えた行動について取り組んでいます。動画を見ながら画面に映っている人はどう思っているのか、自分ならどうするかなどを考え、ロールプレイングを行って体験し、生活に生きる力を育てています。



高等部

「思いやりって何だろう～スマートフォンの使い方～」では、自分の考えをまとめて発表しました。生徒からは「話す前、書き込む前に、相手がどう思うか考える」といった言葉が聞かれ、相手を思いやる気持ちが育っています。



・互いのよさに気付く交流及び共同学習の推進

小学部

富田小学校の友だちと、手紙や自己紹介カード、ビデオレターなどを送り合います。お互いのよいところ、頑張っていることを知る機会となっています。



中学部

富田中学校と学級紹介の動画を送りあったり、学級ごとにメッセージを交換しあったりする活動を行っています。互いの状況を知りつながることで、相手のよさを感じることができています。



高等部

郡山東高等学校を訪問し、数学IIと書道の授業に参加しました。施設のつくりや学習の仕方の違いに気づくとともに、同世代との関わりをとおして、相手のよさや自分のよさを知る貴重な体験となりました。



健やかに生きる児童生徒

・つなぐ、つながる校内支援体制の整備

教育支援部では、児童生徒の学習や生活にかかわるさまざまな課題を解決するために、適切なメンバーを検討、招集してケース会議を行っています。

ケースによっては、保護者の皆様や外部の関係機関にご協力をいただくこともあります。



・地域支援センターによる校外支援の充実

8月3日、地域支援の一環として、地域支援センター特別支援教育研究会を開催しました。独立行政法人特別支援教育総合研究所小澤到賢(みちまさ)主任研究員より「保護者との連携を進めるにあたって考えておきたいこと」として、子どものための連携づくりについてご講演をいただきました。

今年度は地域の小中学校の先生方の参加が増え、地域のニーズに応えた研修会になりました。



お知らせ

本校の取り組みをホームページに随時アップしています。ぜひご覧ください!!